

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 21 年 3 月 26 日 (2009.3.26)

【公表番号】特表 2008-531865 (P2008-531865A)

【公表日】平成 20 年 8 月 14 日 (2008.8.14)

【年通号数】公開・登録公報 2008-032

【出願番号】特願 2007-558017 (P2007-558017)

【国際特許分類】

D 0 1 F 8/04 (2006.01)

D 0 3 D 15/00 (2006.01)

D 0 2 G 3/02 (2006.01)

D 0 2 J 1/22 (2006.01)

D 0 2 G 3/40 (2006.01)

D 0 1 D 5/30 (2006.01)

【F I】

D 0 1 F 8/04 Z

D 0 3 D 15/00 C

D 0 3 D 15/00 D

D 0 3 D 15/00 1 0 2 Z

D 0 2 G 3/02

D 0 2 J 1/22 N

D 0 2 G 3/40

D 0 1 D 5/30 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 2 月 3 日 (2009.2.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複合ポリマー繊維であって、

ポリマー充填剤材料と、

前記充填剤材料内に配置された複数のポリマー散乱繊維であって、前記複合ポリマー繊維の長手方向の軸に実質的に平行な長手方向の軸を有する複数のポリマー散乱繊維とを含み、

前記充填剤材料および前記散乱繊維の少なくとも一方が、複屈折性材料から形成され、前記充填剤材料および前記散乱繊維の屈折率が、前記複合ポリマー繊維に第 1 の偏光状態で入射する光について実質的に整合し、前記第 1 の偏光状態に直交する第 2 の偏光状態で入射する光について実質的に整合しない、複合ポリマー繊維。

【請求項 2】

ポリマーマトリックスと、

前記ポリマーマトリックス内に配置された複数のポリマー複合繊維であって、前記ポリマー複合繊維の少なくとも 1 つが、第 1 のポリマー材料の複数の散乱繊維を、前記第 1 のポリマー材料と異なる第 2 のポリマー材料の充填剤内に含み、前記ポリマー複合繊維が、前記ポリマーマトリックス内に実質的に平行に配列され、前記ポリマーマトリックス、前記第 1 のポリマー材料、および前記第 2 のポリマー材料の少なくとも 1 つが、複屈折性で

ある、複数のポリマー複合繊維とを含む光学体。

【請求項 3】

光学体を製造する方法であって、

複合繊維を押出す工程であって、各複合繊維が、第 2 のポリマーから製造された充填剤内に分散された、第 1 のポリマーから製造された複数の散乱繊維を含み、前記第 2 のポリマーが可溶性である工程、前記第 1 のポリマーを、その第 1 のポリマーが複屈折性になるように配向する工程、配向された複合繊維を含むヤーンを形成する工程、溶媒で洗浄して、第 2 のポリマーを除去する工程、ヤーンのアレイを形成する工程であって、ここで、ヤーンのアレイは好ましい配向を有する工程、ヤーンのアレイに樹脂を染み込ませる工程、及び樹脂を固める工程を具備する、方法。